

平成27年10月5日

高松市長 大西秀人 殿

高松市香川地区地域審議会

会長 佐藤博美



建設計画に係る平成28年度から平成30年度までの実施事業に関する意見について

孟秋の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、平成27年9月25日付け高地政第1103号で依頼のありました、建設計画に係る平成28年度から30年度の実施事業について、別紙のとおり当地域審議会の意見等を提出いたしますので、建設計画関連事業を含め、重点的・戦略的に推進する主要な施策・事業を取りまとめた「第1期まちづくり戦略計画（平成28年度～平成30年度）」に、当該意見等を十二分に反映していただきますようお願い申し上げます。

建設計画に係る平成28年度から30年度までの実施事業に関する意見について

地区名：香川地区

番号	項目	意見の内容
1	特色あるスポーツ施設の整備促進について	<p>合併時の建設計画の中で、特に重点取組事業として位置付けられている「南部地域の核となる特色あるスポーツ施設の整備」については、まず、最低限度必要な施設を平成28年度中の完成を目指し先行して整備を行い、それ以降、利用状況等を考慮して、管理棟、夜間照明を整備するとされていますが、これまで地域審議会で審議してきた決定事項を、地域住民の声として十分に尊重していただき、夜間照明と人工芝を備えたスポーツ施設の一日も早い完成を切望するものです。</p>
2	保育所の整備及び幼保一元化計画について	<p>大野地区統合保育所及び川東保育所施設整備については、平成28年夏頃の開所に向けて事業が進められているところですが、耐震性の確保を最優先事項として、子ども達が安心・安全で健やかに育つよう、一日でも早い環境整備をお願いしたい。</p> <p>また、開所後に幼保連携型認定こども園に移行した場合、保育所、幼稚園相互の連携を密にさせていただき、先に移行している園での経験を十分に活かすと共に、関係者の意見も聴取しながら、保護者の不安を少しでも解消するように充分配慮した対応をお願いしたい。</p>
3	伝統文化の保存継承について	<p>高松市の貴重な民俗文化財である「ひょうげ祭り」や農村歌舞伎「祇園座」の保存活動及び後継者育成に対し、引き続き積極的な支援を要望する。</p> <p>文化的にも価値が高く、香川県の指定民俗文化財にもなっている「ひょうげ祭り」や農村歌舞伎「祇園座」の保存・継承と併せて、高松市の代表的な文化財として県内及び他県自治体との交流事業にも積極的に関わっていきたくと考えているので、高松市として引き続き支援をお願いしたい。</p> <p>更には、「大禹謨碑関連事業」についても、当該事業を継続実施する予定であるので、事業展開への支援をお願いしたい。</p> <p>また、市のホームページや広報誌等への掲載、報道機関への情報提供、インターネット等を利用した全国への情報発信も引き続きお願いしたい。</p>
4	高松市民病院附属香川診療所機能の確実な維持について	<p>高松市民病院附属香川診療所においては、「総合診療科」を設け、医師派遣を受けるとともに、香川大学医学部に設置した地域包括医療学講座の内科医師による診療も行うなど、地域の特性を反映した取り組みに努めていただいておりますが、今後も新病院開院までは、香川診療所の確実な維持に向けてあらゆる方策を講じていくよう努められたい。</p> <p>住民参加型の医療を提供する地域に根ざした診療所であるとの認識の元、香川診療所と市民病院との連携を密にし、市民病院等から応援医師の派遣も継続し、引き続き、医師の維持確保に努めていただきたい。</p>

建設計画に係る平成28年度から30年度までの実施事業に関する意見について

地区名：香川地区

番号	項目	意見の内容
5	香川保健センター	<p>総合センターの開設に合わせて、地域包括支援センター・保健センターの出先機関を統廃合し、段階的に総合センター内に移転をするようだが、現在の香川保健センターの跡施設の活用方法については、地域の人たちが気軽に交流できる施設となるように、地域の各種団体をはじめ地域住民の意見を十分反映して頂き、将来的に跡施設の有効活用が図れるように考慮をお願いしたい。</p>
6	市道の整備について	<p>①市道向坂宮下線の早期整備 全市的にみても、将来は各拠点間を結ぶ路線として、また、高松市南部地域のまちづくりを担う大変重要な路線であることを十分認識いただき、今後とも、地元土地改良区や水利組合等関係団体に対し、地元対策等についてのご指導をお願いしたい。 また、今後、土地所有者ほか地元関係者の同意、合意形成がなされ、正式な要望書が提出されれば、直ちに道路の規格、法線などを定め、県道三木綾川線までの延長整備事業を早期に計画・立案されたい。</p> <p>②市道下川原北線・山下横岡線等の早期整備 市道山下横岡線の拡幅整備については、まず、市道下川原北線を整備し、その後の交通量の増加状況や交通の流れを検証し、適切に対応していくとのことであるが、交通量も増加傾向にある上、通学路にもなっていることから、危険性は年々増大しているものと思われる。通行者の事故を未然に防止するためにも、市道下川原北線の日も早い完成に努めていただき、併せて、市道山下横岡線の拡幅整備について早期に計画・立案をされたい。 また、市道八王子線については、市道山下横岡線と同様、通学路となっていることから、地域住民から整備要望が強い路線であるので、地元関係者の協議が整い次第、早期整備をお願いしたい。 さらに、その他の路線についても、早期整備が図られるよう適切に対処されたい。</p>
7	高松市新病院の整備について	<p>高松市新病院は、高松市民病院と香川診療所を移転統合した、本市医療全体の最適化を目指すリーディングホスピタルとして、リハビリ等により患者の在宅療養への移行を支援する地域包括ケア病棟を設置し、回復期の患者の受け皿として地域包括ケアの後方支援機能を強化するとともに、地域の医療機関や施設等からの相談にきめ細やかに対応する為の入退院センターを設けることにより、市民に対しては良質な医療提供に努め、併せて、病院事業の経営基盤の安定化を図るものとして、大いに期待されているところです。 引き続き、市民が安心して笑顔で暮らせるまちの実現のために、新病院の早期開院に向けて、なお一層、全力を傾注して取り組んでいただくよう、お願いするものです。</p>